

神の力また神の知恵

I コリのライフスタディ第7編より抜粋

パウロの宣べ伝えはギリシャ哲学の原則とは絶対に相反していました。ギリシャの哲学によれば、十字架につけられたキリストについてのパウロの宣べ伝えは、論理的でも哲学的でもありませんでした。ここでパウロはコリント人にこう言っているかのようです、「……あなたがたが受けた初期の賜物は発展していません。それらは成長して円熟していません。むしろ、あなたがたは幼子の段階にとどまっています。……今わたしの負担はあなたがたを十字架につけられたキリストに、…連れ戻すことです。あなたがたは自分たちのギリシャ文化、知恵、哲学を忘れて、キリストと十字架につけられた方に戻る必要があります」。……彼は、**十字架につけられたキリストはわたしたちを救うための神の力であり、神のご計画を成就するための神の知恵であると告げました。**

パウロは十字架につけられたキリストを宣べ伝えました 人の見方(観点)から十字架につけられたキリストを見る	I コリ 1:23 しかし、わたしたちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。彼はユダヤ人にはつまずきの石であり、異邦人には愚かですが、
召された者たちとして十字架につけられたキリストを経験する	I コリ 1:24 召されている者には、ユダヤ人にもギリシャ人にも、キリストは神の力、また神の知恵です。
十字架につけられたキリストは神からのわたしたちに与えられた知恵となった	I コリ 1:30 しかし、あなたがたがキリスト・イエスの中にあるのは、神によるのです。このキリスト・イエスは、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなりました。

I	わたしたちは 十字架につけられたキリスト を宣べ伝えます。彼はユダヤ人にはつまずきの石であり、異邦人には愚かです	A	パウロが宣べ伝えた十字架につけられたキリスト
		B-C	人の観点から見た、十字につけられたキリスト
		D-F	わたしたちが 経験 する十字架につけられたキリスト
II	神によって召された者たちが、キリストが 神の力と神の知恵である ことを認識し 経験 する	A-B	召された者に対して
		C-F	キリストの力と知恵を認識し、 経験 する
III	キリストは、 神からわたしたちに与えられた知恵 (救いにおける三つの極めて重要なもの)となりました:	A	キリストは、神からわたしたちに与えられた知恵となられた
		B	救いにおける三つの極めて重要なもの

【朝ごとの食物第15週】		神の力また神の知恵		
日	段落	思想	主題	要点
1	十字架につけられたキリスト	パウロの宣べ伝え 人の見方	人の見方から十字架につけられたキリストを見る	自身を救うために何も行なわなかったキリスト 人の目には無力であり、知恵が無い(愚か)
		神の方法	十字架につけられたキリストは神の力と知恵である	十字架につけられたキリストは神の力です 十字架につけられたキリストは神の知恵です
2	3	わたしたちの 経験	十字架につけられたキリストを 経験 し、十字架の生活をする	そうすれば神の御旨を遂行する道を持ちます そしてわたしたちは終わらされます。
召された者に対して				召された者は神の力と知恵としてのキリストを 経験 する
4	神の力と知恵	救いにおける三つの事柄	キリストは義と聖別となられた	キリストは義となられた キリストは聖別となられた
5	神からわたしたちに与えられた知恵			キリストはわたしたちの将来のために贖いとなられました 贖いは三つの事柄を含みます
6			キリストは贖いとなられた	

まとめ

自分を救うために何も行なわず、十字架につけられた生活をする

自分を救うために何も行なわない	救い、強化を 経験 する
十字架につけられた生活をする	神の御旨を遂行、 完成 する
神からわたしたちに与えられたキリスト	日々の 経験 とする

神の力また神の知恵

聖書：I コリント 1:2, 23-24, 30. ローマ 6:6, 19, 22. エペソ 1:9, 11. 3:11

パウロが宣べ伝えたのは、十字架につけられたキリストです

I. パウロは、I コリント第1章24節でキリストを神の力また神の知恵として言及する前に、23節で次のように宣言しています、「わたしたちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。彼はユダヤ人にはつまずきの石であり、異邦人には愚かであります」:

***A、パウロが宣べ伝えた十字架につけられたキリスト、**

- *神のエコノミーを遂行するための、神の力と知恵としてのキリストです。
- *ご自身を救うためには何も行なわなかったキリストです。

A. これが示していることは、神のエコノミーを遂行するために神の力また神の知恵であるキリストが、十字架につけられたキリスト、すなわち、ご自身を救うためには何も行なわなかったキリストであるということです——I コリント 1:24。

***B-C、人の観点から見た、十字につけられたキリスト**

***人の目(見方)によれば、それは無力です**

B. 人の目には、もし人が十字架につけられるなら、彼は無力であると見なされます。なぜなら、力強い人は十字架につけられようとしなからず。それにもかかわらず、神の力であるキリストは十字架につけられました。

***人の目(見方)によれば、それは愚かに見えます**

C. さらにまた、人の見方によれば、知恵ある人は十字架を避ける方法を見いだします。しかし、神の知恵であるキリストは、十字架につけられました——ガラテヤ 2:20。

* I コリ 1:22 「確かにユダヤ人はしるしを求め、ギリシャ人は知恵を追い求めます。」

* I コリ 1:23 「彼はユダヤ人にはつまずきの石であり、異邦人には愚かであります」

朝ごとの食物 P89 から

ユダヤ人にとって、復活は大きな奇跡でした。ギリシャ人にとっては、復活の言葉は非常に哲学的でした。
 力強い人 : 自分が十字架につけられようとはしない; もし十字架につけられるなら、彼は無力であると見なされます。
 知恵のある人: 十字架を避ける方法を見いだします; しかし神の知恵であるキリストは十字架につけられました。

D-F、わたしたちが経験する十字架につけられたキリスト

***しかし、この十字架につけられたキリストは神の力です。なぜならキリストは宇宙の中のすべての消極的な事柄を終わらせました。**

D. 十字架につけられたキリストは、神の力です——I コリント 1:24 :

1. キリストの十字架において、わたしたちは神の力を見ます。
2. サタン、この世、罪、墮落した人、肉、天然の命、旧創造、規定を打ち破るためには、神の力が必要です。
3. キリストの死、すなわち、キリストが十字架につけられることは、神の力となりました——24節。

***そして、十字架につけられたキリストはまた、神の知恵であり、神の深遠なご計画と関係があります**

E. 十字架につけられたキリストは、神の知恵です——I コリント 2:7 :

1. わたしたちは何を達成するにも、力また知恵としてのキリストを必要とします——1:24。
2. 知恵は、計画し決定するためです。力は、計画し決定したものを遂行し達成するためです。
3. わたしたちが十字架につけられたキリストを経験するとき、彼はわたしたちに対して神の力となるだけでなく、神の知恵ともなります——ローマ 6:6. ガラテヤ 2:20。
4. 十字架につけられたキリストは神の知恵として、神の大いなる喜びにしたがった、また神のみこころを成就する神の方法にもしたかった、神の深くて深遠なご計画と関係があります——エペソ 1:9, 11. 3:11 :
 - a. わたしたちは神の知恵としての十字架につけられたキリストを持っているので、神のみこころを遂行する方法を尋ね求める必要はありません。

- b. わたしたちは十字架につけられたキリストを経験することによってのみ、神のみこころを行なう方法を自然に持ちます。
- c. わたしたちは、神のみこころを行なう知恵を持つようになります——コロサイ 1:9、4:12。
- d. わたしたちが十字架につけられたキリストを経験しさえすれば、キリストはわたしたちに対する神の知恵となって、神のご計画を成就します。すなわち、わたしたちは、神のみこころを行なう神の知恵を持ちます——1:9。

***わたしたちは十字架につけられたキリストを認識し経験し、わたしたちを終結させられます。**
 ——そうしてわたしたちに神の力と知恵としてのキリストを認識し、経験させます

F. わたしたちは十字架につけられたキリストを経験するとき、終結させられます——ガラテヤ 2:20:

1. わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべて、わたしたちが行なうことのできるすべては、みな完全に終結させられます。
2. わたしたちが主イエスの御名を呼び求めて、主を経験し享受しているとき、彼の十字架はわたしたちを終結させます。
3. 十字架につけられたキリストは、力であるだけでなく、わたしたちが肉、天然の命、旧創造から救い出されるための道でもあります。

神によって召された者たちが、キリストが神の力と神の知恵であることを認識し経験する

——主の御名を呼び求める実行を通して(わたしではなく、主であることを認める)、神の力と知恵を経験します

II. わたしたちは神によって召された者たちとして、キリストの力と知恵を認識し経験する必要があります——I コリント 1:24:

***わたしたちは召された聖徒たちです**

A. I コリント第1章2節は、「召された聖徒たち」に言及しています:

1. キリストにある信者は、召された聖徒たちであって、聖徒となるよう召されるのではありません。これは地位上の事柄、地位上の聖別であり、性情における聖別を目的としています。
2. 主の御名を呼び求めることは、主の中へと信じることを暗示しています——ローマ 10:14。
3. 主にあるすべての信者は、呼び求める者であるべきです——使徒 9:14, 21. 22:16。
4. わたしたちはすでに召されて、呼び求めています。すなわち、神によって召されて、主の御名を呼び求めています。
5. 神によって召されている者には、キリストは神の力、また神の知恵です。

***すなわち神によって選ばれ、彼(キリスト)を信じた者です**

B. 「召されている者」(I コリント 1:24) とは、永遠において神によって選ばれ(エペソ 1:4)、時間においてキリストを信じた(使徒 13:48) 信者たちを指しています。

***信じ、主の御名を呼び求める者には、キリストは神の力、また神の知恵です。**

C. キリストを信じて彼の御名を呼び求める者には、彼は神の力、また神の知恵です。

***キリストは、わたしたちを救うための神の力です。**

***神のご計画を成就するための道(方法)としての神の知恵です**

D. 十字架につけられたキリストは、わたしたちを救うための神の力であり、また神のご計画を成就するための神の知恵です:

1. 力は能力であり、知恵は道です。
2. キリストは、まずわたしたちの力であり、それからわたしたちの知恵、すなわち、わたしたちの道です。
3. キリストは、神のエコノミーを遂行するための神の力であり、また神のエコノミーを遂行するための神の知恵、神の道です。

***神の力としてのキリストは、ダイナミックな力でわたしたちを強め、いっさいの事柄を行なうことができるようになります**

E. 神の力としてのキリストは、ダイナミックな力でわたしたちを強め、わたしたちであるものとわたしたちが行なう事において、わたしたちを供給し、支えます:

1. わたしたちのすべての環境と状況において、神の力としてのキリストによってわたした

ちは、苦難を耐え忍び、重荷を担い、堅く立つことができます。

2. 彼はまたわたしたちを支えて、揺り動かされないようにします。こういうわけで、パウロは次のように宣言しています、「わたしは、わたしを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」——ピリピ 4:13。
3. 神の力としてのキリストは、彼の神聖な分与を通して、日ごとにわたしたちを供給し、支えています。

***神の知恵としてのキリストは、絶えず神からわたしたちへと流れ、現在の実際的な知恵となります**

F. 神の知恵としてのキリストは、絶えず神からわたしたちへと流れて、わたしたちの経験において、わたしたちの現在の実際的な知恵となります—— I コリント 1:24。

キリストは、神からわたしたちに与えられた知恵(救いにおける三つの極めて重要なもの)となりました:

III. 「あなたがたがキリスト・イエスの中にあるのは、神によるのです。このキリスト・イエスは、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなりました」—— I コリント 1:30:

***「神からわたしたちに与えられた」とは、一種の伝達が進行中であることを示しています。**

A. この節でパウロは、キリストがわたしたちの知恵となったと言っているのではなく、**キリストが「神からわたしたちに与えられた」知恵となった**と言っています:

1. 「神からわたしたちに与えられた」というこの表現は、伝達の方法における現在の、実際的で、経験的で、進行中のものを示しています。
2. キリストが神からわたしたちに与えられた知恵となるのが示していることは、わたしたちの日ごとの経験のために、神からわたしたちに与えられた**知恵としてのキリストの伝達がある**ということです。
3. わたしたちは、神からわたしたちに与えられた知恵としてのキリストを**絶えず必要とします。**

B. キリストは、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、**神の救いにおける三つの極めて重要なもの**となりました:

1. **キリストはわたしたちの義**です(わたしたちの**過去**のため)。それによって、わたしたちは神によって**義とされました**。それは、わたしたちが霊の中で再び生まれて、神聖な命を得るためです——ローマ 5:18。
2. **キリストはわたしたちの聖別**です(わたしたちの**現在**のため)。それによって、わたしたちは魂において**聖別されつつあります**。すなわち、わたしたちの思い、感情、意志において、彼の神聖な命をもって造り変えられつつあります——6:19, 22。
3. **キリストはわたしたちの贖い**(わたしたちの**将来**のため)、すなわち、わたしたちの**体の贖い**です(8:23)。それによって、わたしたちの体は、彼の神聖な命をもって変貌させられ、彼の栄光の様を持つようになります(ピリピ 3:21)。
4. わたしたちがそのような**全体的で完全な救いにあずかる**ことによって、わたしたちの**全存在(霊、魂、体)は有機的にキリストと一になり、キリストはわたしたちのすべてとなります**。これらすべては神によります。
5. これは完全に神によるのであって、わたしたち自身によるものではありません。それは、わたしたちが自分自身の中でではなく、神の中で誇り、誇らしく思うためです——エペソ 3:20-21。

**キリストは、神からわたしたちに与えられた知恵、
すなわち、神の救いにおける三つの極めて重要なものとなりました:**

義	聖別	贖い
過去	現在	将来
神によって 義とされました	魂の中で造り変えられ つつあります	体の贖い
霊	魂	体
ローマ 5:18	ローマ 6:22	ローマ 8:23